

特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会
第15回通常総会議事録

1 日 時 2015年 6月 6日 13時00分 - 14時10分

2 場 所 東京グランドホテル 4F 芙蓉の間

3 出席者数 27名（欠席者のうち 議決権行使者数 34名、表決委任者数 16名）

4 審議事項

- (1) 第1号議案 2014年度活動報告、及び決算承認の件
- (2) 第2号議案 新役員選任の件
- (3) 第3号議案 2015年度活動計画案、及び予算案審議の件

5 確認事項

議決権を有する正会員総数は175名、本通常総会では

- 出席者数 : 27名
- 議決権行使者数 : 34名
- 表決委任者数 : 16名

以上により、計 77名の議決権を確保

- ・ 従って、定款第27条に基づく総会定足数 59名を満たしていることを確認。
- ・ 定款第26条により、議長は会長 川村 武也 がこれに当たる。
- ・ 定款第30条により、書記が指名され、正会員 西川 理 がこれに当たる。
- ・ 定款第30条により、議事録署名人が指名され、正会員 鈴木 央、阪井 敦 がこれに当たる。

6 議事の経過の概要及び議決の結果

議長の名を受け、進行役 鈴木 央 が開会を宣し、議事に入った。

(1) 第1号議案 2014年度活動報告、及び決算承認の件

- ・ 議長より2014年度の活動状況についての詳細をスライドを用いて説明。
 - ・ 2014年度活動方針
 - ・ CPDセミナー及びエンジニアズサロン開催
 - ・ 一日集中「JSPE Day」開催
 - ・ シラバス評価支援サービス開催
 - ・ メンタリング活動立上げ
 - ・ NSPEワシントンDC総会への参加
 - ・ ウェブサイトのコンテンツ充実
 - ・ 会員数の推移
 - ・ 活動結果の課題
- ・ 渋谷高広会計副部長 より2014年度の決算及び資産保全状況について説明。
 - ・ 予算と決算の比較
 - ・ 貸借対照表
 - ・ 比較貸借対照表

費用に関して予算と決算に100万円ほどの乖離があった原因について、各活動について削減努力の効果が出た一方で、一部実施できなかった項目があったとの分析が示された。

- ・ 竹政一夫監事より、2014年度の活動報告に関して理事の執務執行状況および法人の財産状況について監査を実施した結果、法人の活動計算書、貸借対照表、財産目録並びに比較貸借対照表は適正と認めたという報告がなされた。加えて、黒字に関しては結果的に会員への還元ができなかったと捉え、その用途に関しては適正額を議論した上で準備金への加算から会費の見直しまで広く検討して今後の活動に反映いただきたいという意見が開示された。

質問 1-1 2014年度貸借対照表にある、JPECからの未収金とは何か？（川瀬会員）

回答 1-1 JPECからの未収金は、2013年度決算にもあった未収金が一部繰り越されたものである。これについては、担当にて調査し、適正に処理したい。なお、2014年度予算ではJPECからの寄付金10万円を見込んでいたが、当初JPECとの共催を計画していたPE受験・登録セミナーをJSPE単独開催としたため寄付金収入はゼロになった。

（川村会長）

- ・議長が1号議案の審議承認を求めたところ、賛成多数で承認可決された。

(2) 第2号議案 新役員選任の件

- ・議長より、2015年度の新役員を選出する議案を説明。
- ・2014年度からの継続役員候補14名
理事：川村武也、西川理、阪井敦、鈴木央、渋谷高広、柴山美香、森口智規、森山亮
山浦良久、小口力、村瀬義昭、寺田誠二
監事：竹政一夫、植村大輔
- ・新役員候補2名
理事：横山佳生、峯松史明
- ・退任役員3名
理事：土屋雅彦、野本泰之、岩下哲
- ・本件に関する質問、意見はなかった。
- ・議長が2号議案の審議承認を求めたところ、賛成多数で承認可決された。
- ・新役員はその場で就任を承諾した。

(3) 第3号議案 2015年度活動計画案、及び予算案審議の件

- ・議長より、2015年度の活動計画および予算について説明。
活動方針を
「プロフェッショナルエンジニアの見える化 Uncloaking of Professional Engineer」
とし、以下の3つのアプローチで活動を行う。
 - ・見つける Finding
 - ・伝える Mentoring
 - ・広げる Networking
- ・また2014年度の予算未消化の反省も踏まえ、今年度はJSPE設立15周年記念活動として100万円を上限とする予算枠を設定し、トータルで約50万の赤字予算とする。

質問 3-1 日頃ホームページやメールを通じて活発な活動をされていると感じている。一方で特にFE会員については退会者が目立つ。退会する方へのサポート、退会しない仕組みづくりについてどのように考えているか？
JSPEに関して敷居が高いと感じて、活動に一度も参加せずに辞める会員もいるように思う。（関口会員）

回答 3-1 退会するFE会員には、FEは取得したもののPEを取得するつもりはないという方とPEを取得したいが敷居が高いという方の2種類いると思う。前者については、FEでも価値があるということを説明し、仮に退会しても協力団体になって情報提供を受けられるという道も用意した。後者に関してはメンタリング活動等を通じ、PE取得の意味や方法を伝えていきたい。（川村会長）

質問 3-2 協力団体とは何か？また活動方針の「見つける」の説明の最後に蓄積していきますとあるが、何を蓄積するのか意味がよくわからないので教えて欲しい。（金城会員）

回答3-2 賛助会員という会員区分が定款にあるが現在ゼロである。そこで将来賛助会員になってくれそうな団体に無料でセミナー等の情報提供を行えるよう協力団体という枠を新たに設定したものである。具体的には八戸高専、三重大学、東京大学など以前JSPEとしてPE/FEの説明会を実施したところである。そして協力団体の構成員がセミナー参加する場合は会員価格で提供する。

また「見つける」とは、まだぼやっとしたイメージでしかないが例えばJSPEマガジンの記事などに埋もれているPE資格のメリット・社会貢献事例を深掘りして、PE資格の有効活用が見えるような形にしていくというようなことである。

- ・ 議長が第3号議案の承認を求めたところ、賛成多数で承認可決された。
- ・ 以上をもって、議案全部の審議を終了したので、進行役は14時10分閉会を宣し、散会した。

7 議事録署名人の選任に関する事項

上記の議決を明確にするため、議事録を作成し、定款第30条の規定により、議長及び議事録署名人が記名捺印する。

以上、この議事録が正確かつ真正であることを証します。

2015年6月6日

議長

川村 武也



議事録署名人

鈴木 央



議事録署名人

阪井 敦

